

2021年4月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

4月の「生活自由度」は57.5点、2か月連続で増加
「行動の抑制度」も2か月連続でゆるむ

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2021年4月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は4月1～5日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20～69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査実施前の状況】首都圏1都3県では感染者数が下がりきらず、緊急事態宣言が3月21日に解除された後も、飲食店への時短要請の継続、花見や歓送迎会等の自粛呼び掛けを実施。仙台、山形など地方での感染増加や、全国で“変異株”の拡がりも見られました。同宣言が3月1日に先行解除された6府県のうち関西3府県では、再び感染者が急増。4月1日には大阪、兵庫、宮城の3府県、仙台市を含む計6市で初の「まん延防止等重点措置」の適用が決定(4月5日～5月5日)されるなど、慌ただしい動きの中での調査です。

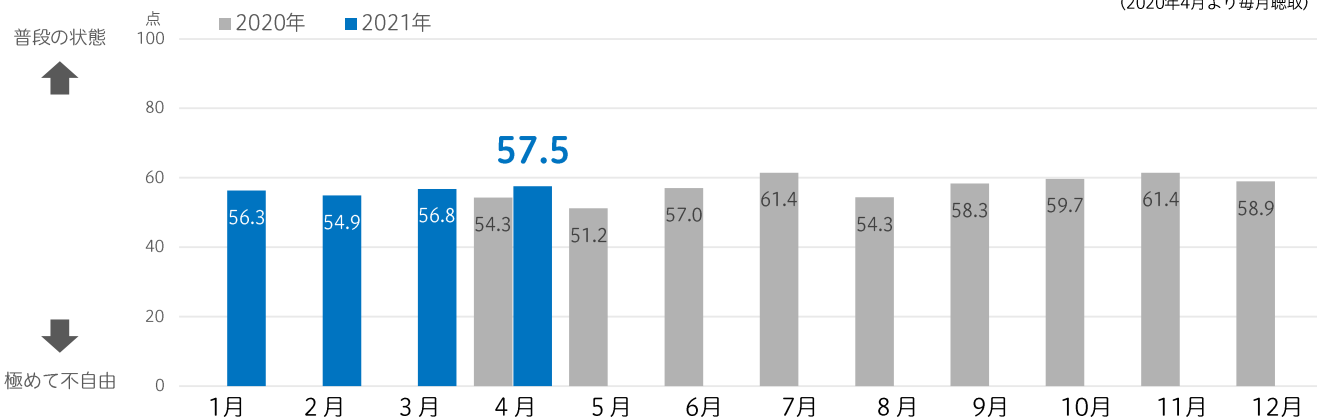
新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

2021年4月は、57.5点

前月差
+0.8pt前年同月差
+3.2pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2021年4月は57.5点となりました。前月から0.8pt増、2か月連続の増加です。前年同月差では3.2pt増となっています。

(2020年4月より毎月聴取)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は「海外の情勢」(68.2%、3.5pt増)が目立つ程度で大きな変化はみられません。一方、【行動の抑制度】は2か月連続で全項目が減少。特に「不要不急の買い物」(70.9%、4.3pt減)が目立ちます。【行動の実施度】に大きな変化はみられません。増減は「キャッシュレスでの支払い」(64.9%、3.0pt増)、「テレワーク」(30.7%、3.5pt減)でみられる程度です。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	海外の情勢	68.2%	+ 3.5pt	- 15.3pt
	行政の対応	76.1%	+ 1.2pt	- 10.8pt
	経済の停滞	77.3%	+ 1.1pt	- 13.9pt
【行動の抑制度】 控えている行動	不要不急の買い物	70.9%	- 4.3pt	- 13.3pt
	旅行・レジャー	84.3%	- 2.2pt	- 4.4pt
	交友・交際	79.1%	- 2.2pt	- 6.0pt
【行動の実施度】 取り組んでいる行動	キャッシュレスでの支払い	64.9%	+ 3.0pt	(聴取なし)
	フリマアプリ等での出品・販売	24.8%	+ 2.3pt	+ 6.5pt
	テレワーク ※有職者ベース	30.7%	- 3.5pt	+ 7.2pt

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

生活自由度は前月から0.8pt増、2か月連続の増加。前年同月より3.2pt増

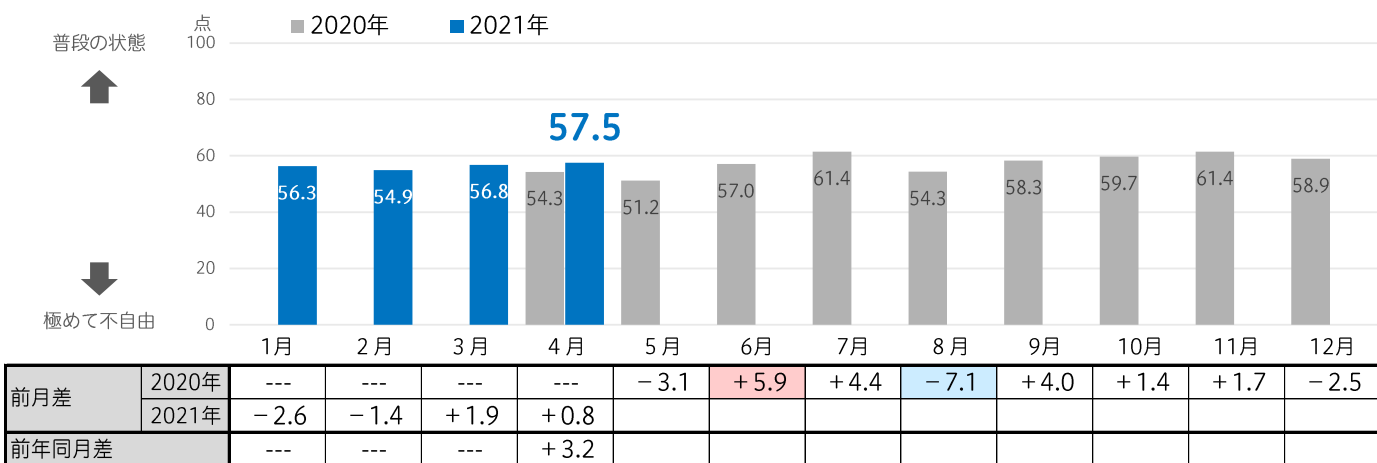
生活自由度の過去データを見ると、1回目の緊急事態宣言下で行った前年5月がこれまでで最も低い51.2点でした。以降、諸状況で変化しつつも全体的にはそれを上回る水準で推移しています。感染者数は今春の方が昨春よりはるかに多くなっているものの、ウイルスについての情報普及、マスクや消毒などの感染対策行動の普及、慣れなども含めて、生活自由度が高まっていると考えられます。

自由回答では、現状には「プラス面もある」「慣れもある」。マスクの不快感、変異株の不安、ワクチン渴望も広がる

生活自由度が高い人からは、「マイナスもあるがプラスもある」「色々な価値観の変化に好感」「生活を楽しむ努力をする」との声がみられます。生活自由度が中程度の人からは「慣れもある」、一方「感染すると職場に迷惑だから制限している」との声もあります。生活自由度が低い人からは、仕事や収入への厳しい影響や、家族の世話など負荷が高い人の声があります。若い女性から「今しかない時間を奪われる不自由さ」という声もありました。また生活自由度に限らず、(気温上昇も含め)マスクの不快感、変異ウイルスへの不安、ワクチンへの渴望の声がみられました。

生活自由度

(単位：点／差分：pt)



前月差	2020年	---	---	---	---	-3.1	+5.9	+4.4	-7.1	+4.0	+1.4	+1.7	-2.5
	2021年	-2.6	-1.4	+1.9	+0.8								
前年同月差	---	---	---	+3.2									

※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

生活自由度の理由(一部抜粋)

生活 自由度	高 (61点以上)	不自由になった部分もあるが、在宅勤務になり自分の時間が増えた。プラスマイナスゼロだと感じている。	100点	50歳女性・東京都
		秋冬以外でもマスクをつけるのがうとうしい。特に気温が高くなると息苦しく、下手をすると熱中症になりかねない。	95点	56歳女性・大阪府
		基礎疾患を持った家族と同居しており、気軽に外出できなくなったのでストレスが多いですが、元々好きではない飲みの席等に出席しなくて良かったので気が楽です。	80点	35歳男性・大阪府
		不自由といえば不自由だし、テレワークできる身分でもないの、いかんともしがたいところもある。ただいろいろな意味で価値観が崩れてきており、変なところで気が楽。	70点	52歳女性・愛知県
		制限されてはいるけれど、その中で両親との週末を楽しむ努力をしている。今は少し高めの食材で、少し高めのワインを楽しんでおり、コロナだけで楽しい。	70点	38歳女性・東京都
	中 (41～60点)	かなり感染に気をつけているし、行動も控えているが、緊急事態宣言時よりはマシなので。	60点	45歳男性・兵庫県
		ワクチン接種がまだできていないことに不満を感じているから。	60点	38歳男性・愛知県
		不満もありますが、慣れてきてしまったので良くも悪くもない、ということで50点にしました。	50点	50歳女性・東京都
		流行り始めた当初はストレスを感じていたが、慣れてきたため。	50点	26歳男性・千葉県
		自分が感染してしまうことで職場に迷惑がかかると思い、行動を制限しているので。	50点	37歳女性・大阪府
	低 (40点以下)	旅行が趣味だったのでとても辛い。航空業界に勤めているので目に見えて業績不振が続く、仕事への不安も大きい。仕事終わりが遅いので、飲食店がクローズしてしまい、とても不便を感じている。	40点	25歳女性・神奈川県
		家で家族との時間が増え、またかつての留学先のホストマザーとビデオ通話で家族ぐるみの付き合いができるようになったことは嬉しいし、心の余裕を持つ時間を得られたのも事実。誰かと会っていないと人は豊かでない、みたいな、他人と比較することは減った。でも大好きな祖母とお出掛けできなかったり、「今しかない」時間を取られることには憤りを感じる。一番大切なものを奪われて、極めて不自由に感じている。	30点	25歳女性・大阪府
		変異ウイルスが広がっており、ワクチン接種の具体的な日程もわからない状態で不安である。	30点	65歳男性・大阪府
		50代で初めて体験する人生最悪な状況なので。現状に至る主な原因は、収入の大幅減、早期退職の強い勧告、パワハラで障害者に認定されるほどの重いうつ病の発症などが挙げられます。	5点	51歳男性・愛知県
		友人と会えない。遠方の姉たちや母の孫たちが会いに来れない。母を車で買い物に連れて行かないといけな。現在在宅ワークだが、普通の就職への求人が激減したので、正社員で就業することができない。	0点	52歳女性・東京都

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】…前月差は「海外の情勢」(68.2%、3.5pt増)が目立つ程度。前年同月差では全項目減少。特に「情報の不足や不確かさ」(19.4pt減)。

【行動の抑制度】…前月差では2か月連続で全項目が減少。特に目立つのは「不要不急の買い物」(70.9%、4.3pt減)。

前年同月差でみると、比較できる項目では大きく低下しており、特に目立つのは「不要不急の買い物」(13.3pt減)です。

収束後に控えると思う行動[予想]は、全項目で[実態]より低く、特に差が大きいのは「旅行・レジャー」(-29.1pt)、「交友・交際」(-24.2pt)など。

【行動の実施度】…前月差で大きな差はみられず、「キャッシュレスでの支払い」(64.9%、3.0pt増)、「テレワーク」(30.7%、3.5pt減)が目立つ程度。

前年同月差では、増加が目立つのは、「副業」(15.2pt増)、「投資や資産運用」(9.4pt増)、「感染対策商品や日用品の備蓄」(9.0pt増)など。

また減少が目立つのは、「十分な運動・栄養・睡眠」(6.8pt減)、「家の中でできる娯楽」(6.7pt減)などです。

収束後に取り組むと思う行動[予想]が[実態]より高いのは、「人が密集しない屋外レジャー」(+10.0pt)、「投資や資産運用」(+9.1pt)など。

一方で、[予想]の方が低いのは、「家の中でできる娯楽」(-10.0pt)、「感染対策の徹底(マスク着用や手洗いなど)」(-9.7pt)となっています。

■ 生活意識・行動 (単位：％／差分：pt)

不安度	[実態] 感じている不安				
	21年2月	21年3月	21年4月	前月差	前年同月差
経済の停滞	81.0	76.2	77.3	+1.1	-13.9
行政の対応	81.4	74.9	76.1	+1.2	-10.8
自分や家族の健康	73.4	67.4	68.3	+0.9	-9.9
海外の情勢	70.7	64.7	68.2	+3.5	-15.3
情報の不足や不確かさ	69.9	62.2	62.9	+0.7	-19.4
自分や家族の仕事・収入	62.1	59.5	59.1	-0.4	-10.5
人づきあいの変化	48.8	46.3	46.1	-0.2	---

行動の抑制度	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年2月	21年3月	21年4月	前月差	前年同月差	21年2月	21年3月	21年4月	前月差	前年同月差	
旅行・レジャー	90.5	86.5	84.3	-2.2	-4.4	52.5	52.6	55.2	+2.6	---	-29.1
不要不急の外出	86.0	82.1	80.5	-1.6	-8.8	59.3	58.0	60.4	+2.4	---	-20.1
人とのボディタッチ（握手やハグなど）	85.4	81.9	80.1	-1.8	---	63.9	64.7	65.8	+1.1	---	-14.3
体験型エンタメ（ライブ・観劇・映画鑑賞など）	84.9	81.2	79.5	-1.7	-7.2	52.6	52.3	55.7	+3.4	---	-23.8
交友・交際	85.4	81.3	79.1	-2.2	-6.0	51.0	52.5	54.9	+2.4	---	-24.2
外食	82.4	76.7	74.9	-1.8	-7.8	51.9	50.2	53.4	+3.2	---	-21.5
不要不急の買い物	78.9	75.2	70.9	-4.3	-13.3	56.3	55.5	56.7	+1.2	---	-14.2

行動の実施度	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年2月	21年3月	21年4月	前月差	前年同月差	21年2月	21年3月	21年4月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底（マスク着用や手洗いなど）	94.0	92.4	91.7	-0.7	+0.9	83.5	82.8	82.0	-0.8	---	-9.7
十分な運動・栄養・睡眠	77.3	75.9	72.7	-3.2	-6.8	85.0	82.3	79.7	-2.6	---	+7.0
感染対策商品や日用品の備蓄	71.4	69.6	69.5	-0.1	+9.0	69.5	71.0	68.9	-2.1	---	-0.6
家の中でできる娯楽	75.3	69.9	67.9	-2.0	-6.7	57.1	57.1	57.9	+0.8	---	-10.0
キャッシュレスでの支払い	65.0	61.9	64.9	+3.0	---	67.7	64.8	67.1	+2.3	---	+2.2
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	---	---	61.3	---	---	---	---	60.6	---	---	-0.7
自分で料理する	60.7	56.9	57.9	+1.0	---	65.1	64.3	63.4	-0.9	---	+5.5
感染対策を徹底している店や施設の利用	---	---	55.9	---	---	---	---	57.7	---	---	+1.8
自家用車での移動	50.5	50.8	51.1	+0.3	+4.2	47.1	49.6	47.8	-1.8	---	-3.3
スマホやパソコンなどでのゲーム	50.3	48.3	48.3	±0.0	-1.0	47.1	47.7	46.5	-1.2	---	-1.8
ストーリーミングサービスの利用（動画や音楽など）	46.3	45.5	46.5	+1.0	+1.8	50.3	47.3	48.9	+1.6	---	+2.4
インターネット通販や出前の利用	49.8	46.3	45.7	-0.6	+6.8	44.9	42.8	45.7	+2.9	---	±0.0
人が密集しない屋外でのレジャー	39.4	43.4	45.5	+2.1	+7.3	50.8	53.4	55.5	+2.1	---	+10.0
家の中でできる運動	47.3	45.5	44.2	-1.3	---	52.2	51.0	48.8	-2.2	---	+4.6
人が密集しない屋外での運動	39.7	44.5	41.1	-3.4	---	49.0	49.2	49.5	+0.3	---	+8.4
SNSの閲覧・投稿	38.3	41.2	39.3	-1.9	+4.3	44.2	49.7	45.7	-4.0	---	+6.4
時差通勤・時差通学	40.6	38.7	36.7	-2.0	+2.3	39.7	38.9	38.7	-0.2	---	+2.0
テレワーク ※有職者ベース	35.0	34.2	30.7	-3.5	+7.2	31.7	32.4	31.7	-0.7	---	+1.0
副業（検討含む）	28.2	30.1	30.1	±0.0	+15.2	32.4	33.3	32.7	-0.6	---	+2.6
家の環境充実（通信環境整備や家電購入など）	29.3	29.0	29.9	+0.9	+8.3	38.3	39.0	38.1	-0.9	---	+8.2
普段より少し良いものを買う	27.7	26.7	27.9	+1.2	---	31.0	32.9	31.9	-1.0	---	+4.0
モノを手作りする（手芸、リフォーム、DIYなど）	27.8	26.4	25.9	-0.5	---	34.3	33.2	33.2	±0.0	---	+7.3
投資や資産運用	24.7	26.9	25.7	-1.2	+9.4	33.8	37.8	34.8	-3.0	---	+9.1
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	23.2	23.3	25.3	+2.0	+7.7	27.5	29.5	29.3	-0.2	---	+4.0
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	23.5	22.5	24.8	+2.3	+6.5	27.2	28.6	29.7	+1.1	---	+4.9
就職・転職・起業（検討含む）	22.2	24.8	23.5	-1.3	---	26.9	28.0	27.1	-0.9	---	+3.6
お店・団体の支援	20.1	19.2	19.8	+0.6	---	25.1	25.1	24.1	-1.0	---	+4.3
オンラインでの飲み会・食事会	18.2	18.4	19.6	+1.2	---	18.9	19.5	19.7	+0.2	---	+0.1
オンライン学習	19.5	18.7	18.6	-0.1	+4.3	25.1	25.5	25.9	+0.4	---	+7.3
転居やリフォーム、複数拠点での生活（検討含む）	---	---	16.2	---	---	---	---	21.7	---	---	+5.5

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0～100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

※有職者
2021年 4月 :1,074人
2021年 3月 :1,075人
2021年 2月 :1,032人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次にあげるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域

①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)

調査対象者

20～69歳の男女

対象者割付

調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数

合計1,500人

< 2020年4月～2021年3月 >

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500

< 2021年4月～ >

(単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	143	187	169	136	757
女性	118	139	183	164	139	743
合計	240	282	370	333	275	1,500

調査方法

インターネット調査

調査時期

2021年4月1日(木)～5日(月)(2020年3月から調査開始/毎月上旬に調査実施)

企画分析

博報堂生活総合研究所

実施集計

株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き

<2020年>

- 4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発令(5/6まで)
緊急事態宣言を全国に拡大
- 5月 39県で緊急事態宣言が解除
大阪・兵庫・京都で緊急事態宣言が解除
1都3県含む47都道府県すべてで解除
- 6月 東京都で警戒情報「東京アラート」が発動
- 9月 東京でGoToトラベルの予約開始
- 10月 GoToイートの予約開始
- 11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明
(感染拡大地域への予約)
東京都や大阪府を含め10都道府県でGoToイートが中断
- 12月 東京都でGoToトラベルが一時的に中止
全国でGoToトラベルが一時的に中止

<2021年>

- 1月 1都3県で緊急事態宣言が再発令
緊急事態宣言を11都府県に拡大
- 2月 3月7日まで緊急事態宣言の延長が決定
- <直近の詳細>
 - 3月 1日 大阪・兵庫・京都で緊急事態宣言が解除
 - 3月 5日 東京での医療従事者へのワクチン先行接種開始
 - 3月 7日 1都3県で緊急事態宣言が2週間延長(3/21まで)、飲食店への時短要請を継続決定
 - 3月20日 東京五輪・パラ、海外客の受け入れを断念
 - 3月21日 1都3県で緊急事態宣言が解除
 - 3月22日 東京都心で桜満開
 - 3月24日 1都3県で飲食店への時短要請を4/21まで継続決定
 - 4月 1日 大阪・兵庫・宮城の3府県の6市でまん延防止等重点措置を適用と発表(4/5～5/5)

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3～4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>